



The Kobecco Blue Mer
14th
MIEKO MATSUO

ロートレアモンと ランボー論の 松尾美恵子に

足立 「崖」の最近号に載ったた
いころの日記というのを読みまし
たが、なかなか変わった体験をもつ
た人ですね。

島 有岡佐代子は本年度の神戸女
流文学賞でも最終候補作六篇のな
かに残った人ですね。しかし、作
品としては「渡河」3号の「風と
街と」の方がいい。

★ 「決め手」に欠ける小説
編集部 過去の受賞者は、別にリ
ストアップしておきましたが、今
回は散文ということで選考をお願
い致したいと思います。諸先生方
から次の方々が候補として推せん
されています。順不同で申し上
げますと、柏木薰（「崖」同人）、
北原文雄、石上穂（いずれも「文
芸淡路」同人）、有岡佐代子（「渡
河」同人）、以上は小説で、今回
は評論の方で初めて 松尾美恵子
（「たうろす」同人）が推せんさ
れています。

□選考委員□



島 京子
<作家>



小島 輝正
<神戸大学名譽教授>



足立 卷一
<詩人>

島 材料はいろいろ持っている人
のようだから、将来に期待するこ
とにしてはどうでしょう。

小島 賛成です。

島 柏木はもう古い書き手で、こ
れまでに中央の文芸誌に作品が掲
載されたこともありますね。

小島 そうです。それから、昨年
大阪で創設された第一回織田作之
助賞で、「誰もいらない海」という
作品が佳作二篇のうちの一篇に選
ばれました。ただこれはまだ活字
になっていない。

島 「文芸淡路」の二人もがんば
っていますね。一〇号の北原の「丹
南のひかり」、石上の「地球儀をく
れた女」、どちらもいい作品です。
足立 北原のはこれまでの作品も

なかなか書き馴れていて、もう一家をなしていませんね。

小島 そうですね。ただ、いささか古めかしい情緒派というところがある。私はどちらかといえば石上の方をとります。カルマ君という、ちょっとトボけたような主人の持味がなかなかいい。

島 どちらもそうだけど、もう一

つ未整理で、透明度に欠けるところがありますね。

足立 そう。どこかギクシャクし

たところがあつて、読後感がす

きりしない。

小島 それは大事なことですね。

島 それは大事なことですね。やはり一つの流れ、というか一定のリズムが作品を一貫していなければならぬ。その点で私にも不

満が残ります。

★初めて評論から受賞

島 松尾はまだ若い人でしよう。

小島 三〇なかばだと思います。

これまでのブルーメール賞の散文部門が全部小説なので、たまには評論の方にも視野をひろげていいくのではないかと思って、あえて推せんしたのですが。

足立 評論をも対象にするという

のは大いに結構なことだと思いま

すね。文学賞というととかく小説

に偏るのは問題です。

島 ランボー論とロートレアモン論で、評論といっても、フランス文学の専門の論文に近いようですが、同じ仏文の小島さんとしての評価はどうですか。

小島 狹い意味での本当の専門家からみれば、かなり独断的な解釈を含んでいると思いますが、とにかく徹頭徹尾独学で、しかもこの若さでこれだけの本を書いて、それを自力で出すというのは大した根性です。敢闘賞には十分値すると思いますね。

足立 同感ですね。こういう若い人を元気づける意味でも今回は松尾を選んでいいんじゃないでしょうか。

島 私も賛成です。ブルーメール賞は他部門との釣合いからいっても若い人がいいでしよう。

小島 小説はなかなか若い人にはむずかしいのでむりもないのですが、神戸にはとくに若い書き手が少いのが残念ですね。

島 小説の同人雑誌そのものが神戸には少いですね。

足立 若い小説書きを育てるこ

とも考えなければいけませんね。

小島 本当にそうですね。

△文中敬称略

1. 中村 隆 8. 桜井 利枝
<詩> <小説>
2. 鄭 承博 9. 梅村 光明
<小説> <詩>
3. 小泉八重子 10. 吉保 知佐
<短歌> <小説>
4. 福元 早夫 11. 季村 敏夫
<小説> <詩>
5. 三宅 武 12. 福岡 勝利
<詩> <小説>
6. 秋吉 好 13. 時里 二郎
<小説> <詩>
7. 江頭 越子 <詩>



「ロートレアモンの論理」と「ランボー『ある地獄の季節』構成論」



The Kobecco Blue Mer
14th
MITSUHITO SHIRAHARA

「セビアタウン」の 若さあふれる才能で 白羽弥仁に

岡田 太田タマコが昔屋でプロデュースした「薔薇葬」がおもしろかった。演劇性というよりも、造形の美しさがよく生かされていま

佐野 着実に成長しているのが能の久田徹二。明石で演った「一角仙人」が良かった。

名生 古典であります、スースと踊っているのがいい。

岡田 貞松・浜田バレエ団も若手が育つべきだし訓練がいき届いているのは見事ですね。

名生 舞台数を踏んでいますね。

このバレエ団には、正統的なクラシックだけを演り続けて欲しい。

佐野 東京、大阪を観ると、神戸のバレエはレベルが高いですね。

岡田 モダンバレエの合同公演の「平家物語」、男の世界の中の女性像という本質が描き切れなかった。男が出てくる場が薄くて…。

佐野 まだモダンバレエは衣装で見るものがあったが、日舞の「平家物語」は良くなかった。それより、竹本越路大夫の素淨瑠璃の会「良弁杉」は良かった。

□選考委員□



名生 昭雄
<兵庫県立宝塚北高校教頭>



岡田 美代
<演出家>



佐野 淶箕
<神戸新聞厚生事業団理事長>

★多彩な舞台の動き

佐野 昨年度の舞台芸術部門での動きを見ると、非常に審査の厳しい神戸市の「市民文化奨励賞」を加藤きよ子が受賞したのが大きい。

岡田 ただ、一つだけ私からの注文は、賞を貰った後の舞台は、どんな小品であっても大事にしなければいけないということ。これを心がけてほしいんです。

佐野 もう一つの話題は学生監督白羽弥仁の撮った映画「セビアタウン」。ラストのボールを受け取るシーンはなかなかのもの。既製の真似ではない新鮮な感覚だ。

岡田 上品な神戸弁と、風景のとらえ方が良かった。街が好きでなければあのアングルは出でこない

名生 松本尚蔵が「大阪文化祭賞」と「日本芸能大賞努力賞」を受賞した。彼女にはもう一步トンネルを抜けて欲しい部分があるので、これを励みに頑張って欲しい。

名生 琵琶は柴田旭堂の頑張りがすごい。上原まりは琵琶の音はいいが、発声法がまだ及ばない。

佐野 舞台装置は、シアター・ボシエットの「今を踊る——演歌で踊る恋」で佐名手 実が作った新聞を吊した装置がおもしろかった。

岡田 退廃的な雰囲気が出ていたね。あの舞台は加藤きよ子が森進一の演歌に惚れ込んでどうとう舞台にしたんですが、髪型がいけません。いつもの形ではネエ。

名生 「近松心中物語」でも森進一の歌を使っていたし、二番前じという感じはねえええ。

佐野 もつともと独創的に、実験した方がいいと思うね。

名生 大野伸二とか「劇団神戸」

の若手がぼつぼつ育ってきたようだ。秋の芸術祭で、神劇——廻り舞台として、神戸の劇団がまとまつた形になったのは進歩だと思う。

佐野 市民に良い物を観せる機会なのだから、既製のものを呼ぶだけではなく、新しい舞台を作らないと。

岡田 「四紀会」の「雨になるらむ風になるらむ」は、ていねいな作り方で良かつたけれど、台詞の神戸弁がひどかった。

名生 不正確でしたね。下町で育つて本物を知っている強味をそのまま出せばいいのに、変に作ってしまう。

佐野 台詞の基礎的な訓練が出来ていない舞台人が多い。

岡田 「劇団青い森」の森もりこが、女性が選んだ美しき男達シリーズで「二葉亭四迷」「吉田松陰」を取り上げ、頑張っていますね。

佐野 こうしてみると全体的に小粒だね。その点白羽弥仁は才能を感じさせる。

名生 舞台で抜きん出たものがなかつたですから、映画も舞台芸術部門に入れてもいいですね。

佐野 「神戸の美しさは雀色の夕暮れ」というあたり、よく知っていますね。テレビのホームドラマ風でない、あっさりとしたアンダル・カットが良かった。

岡田 台詞の受け渡しもきれいだし。人生経験とか、屈折したもののがなければ、本当の「情」とかは出ないと思っていましたが、全然違う世界で素晴らしいものがあるというのをこの映画で発見しましたね。

佐野 今回は20歳の才能、白羽弥仁にブルーメール賞を決定しました。

△文中敬称略



アンルイスに演技をつける白羽監督（上）『アルバトロス』での撮影（下）

●受賞者メモリアル

- | | |
|----------|------------|
| 1 花柳芳恵一子 | 8 藤井 徳三 |
| <邦舞家> | <能楽師> |
| 2 若柳吉由二 | 9 海野 光子 |
| <邦舞家> | <假名手庵歌舞伎> |
| 3 吉井 順一 | 10 コメデイ・ド・ |
| <能楽師> | フーゲツ |
| 4 花柳芳五三郎 | 11 加藤きよ子 |
| <邦舞家> | <モダンダンサー> |
| 5 花柳 吉叟 | 12 藤田 佳代 |
| <邦舞家> | <舞踊家> |
| 6 藤間緑寿郎 | 13 花柳五三郎 |
| <邦舞家> | <邦舞家> |
| 7 尾上 菊見 | |
| <邦舞家> | |

月刊神戸つ子第14回ブルーメール賞
選考座談会『ファッショニショ』



神戸の生活文化を 若い力で創造する 神戸市家具青年部会に

★変化しつつある
ファッショニショ

森本 「ファッショニショ都市神戸」
を提唱し続けて10年を迎えるんで
すが、これから神戸の街を支え
るべき個人・団体となると。

小泉 ルワールドが行なったワー
ルド記念ホールオープニングセレ
モニー『コスモポリス』は、ポー
トアイランドの持つ未来性を象徴
して面白かったですね。

藤本 ファッショニショとして
期待していた方が多かつたんです
が、ショー以上に「動き」を感じ
ましたね。ただ、私は山本寛斎の
ショー(寛斎元氣主義)なんかを
見ていてファッショニショー 자체
の形式が変わってきたといえます
ね。

福富 ファッショニショの場が異様に
広がってしまった、専門家のショ
ーとして見せるものと、イベント
としてみせるものの二極性になり
ますね。



ましたね。神戸は、やはり、ファ
ッショニショとしての質のよさを重視
したショーを中心に進んでほしい
ですね。

小泉 初めて、商工会議所が中心
となつて民間の手で催した「神戸
トータルファッショニフェア」(K
T F F)は、十万人のお客を呼び、
神戸らしい催しになりましたね。

森本 あれの残念だったのは、出
品側・見る側共に「トータル」の
意味がわかつていなかつた。
福富 筋を通して、眞面目にやつ
ていたのはよくわかりました。

森本 もつと「売る」気も必要で
すね。

小泉 KFM・KFCの合同ショ
ーというのもありましたね。

藤本 私はKFMで参加したんで
すけど、半分半分それぞれに変化
がつたよかったです。私はKFMで参加したんで
森本 いい意味でも悪い意味で
も、お互いのよさが明快に出た感

じがしますね。次元が違うので対象にはなりませんが。

小泉 いろんな成功例や、多くの見直し点の出てきた神戸トータル

ファッショングエアーは、ファッショングエアーの、一つの核になる催しになつたと思いますので、

ぜひ積み重ねて名物に。

森本 そりや初めてのことなので不慣れな点もありましたが、何事も積み重ねですから。今度やるならPRもばっかりとやつてほしい。でも、神戸にとっては画期的な行事でした。

★激励ごめ神戸市家具青年部会に森本 「灘五郷酒造組合」が、KTFで優勝しましたが、伝統文化の“酒”を現代風にアレンジし

て、サケカクテルの“サムライ”を上手くアピールしていました

ね。それから真珠振興会の人々もよく頑張っていましたよ。

小泉 ル・シャルルの林宏子常務が84年に“ボーグ・ランジェリーの歩み”を、また新春に“マイ・ボ

ーグ”を説出。注目された。

福富 大里最世子も、毎年ショーケを開いて頑張ってる。それから神戸大丸の“ジバンシイ”ショー

も、本格的なオートクチュール作品で長く続いている。

藤本 染色の白石弘子のグループ

展も、なかなか楽しかった。小泉 彫金作家も少しずつ目立つてきていますよ。木下パールで個展を続ける神田宏とか、若屋の藤

田ジュリオとか……。

森本 街づくりでは、なんていつたってポートアイランドのファッショングエインに各企業が進出してきたということです。建築文化賞では、ほとんどがファッショングエインにある建物でしたから。

小泉 若手が結集しているという

のでは、神戸市家具青年部会が一番に挙げられます。一昨年、神戸市経済局と共に開いた「第一回神戸洋家具フェア」が、マスコミにも話題を呼びました。それから昨年には、20周年記念誌も発行しました。これから業界のリーダー達の活躍は喜ばしいですね。

森本 “激励する”というブルーメール賞の本質からいえば、神戸市家具青年部会の若手にこの賞を贈りたいですね。

藤本 私もそう思います。生活文化をファッショングエーと呼ぶ神戸にとっては、手づくりの神戸家具の若手グループにぜひあげたいですね。

△文中敬称略



上／コウベ・ファッショングエニアフェア（於さんちかインフォメーションコーナー）下／20周年記念会誌出版記念パーティー（於生田神社会館）

●受賞者メモリアル

1. 藤本ハルミ
<服飾デザイナー>
2. 米田 博司
<神戸市心身障害福祉センター>
3. 市野木江充子
<ニットデザイナー>
4. KJTC
<コウベジュニアアーティラーズクラブ>
5. 太田タマコ
<アートフラワー>
6. KFS
<コウベファッショングエニアセティ>
7. 「真珠の街・神戸」を考えるプロジェクトチーム
<パール>

月刊神戸つ子第14回ブルーメール賞

選考座談会 《美術部門》



The Kobecco Blue Mer
14th
NORIAKI TAKEDA

アート感覚で 街を創造する 武田則明に

★活動は活発だが
実力者不在の若手

赤根 僕はまず中央区江戸町にアトリエを作つて、アートナウにも2年連続で出展した杉山知子を候補に推奨したいね。

増田 彼女の今後の活動は注目に値するよ。それから、アートナウに2年連続で出展したのでは権昇も順調だね。ポートアイランドで開かれたKFA主催の「KOBE WILL '84」のモニュメント作成幼稚園にも作品を残すなど精力的に文化活動してるし、関西だけでなく、東京西武百貨店での「現代美術展」への参加などで関東でも名前が認識されている。

赤根 田中薰、宮崎豊治もひんぱんに個展を開いているね。シティギャラリーで個展の松井憲作もがんばっている。彼はコンセプトがしっかりしているのでこれからが楽しみだ。

□選考委員□



草野 拓郎

<神戸新聞学芸部>



増田 洋

<県立近代美術館館長補佐>



赤根 和生

<美術評論家>

草野 僕は細胞の断面図のような大変細かい仕事でエンバ賞にも何回となく入賞した森本菊子、具象画の野口益代、ギャラリー北野坂

で珍しい七宝の作品を見せた小野真須美が印象に残っているなあ。他に東門画廊で精力的に個展を開いた田中徳喜は作品にボップアート的遊びができた。奥田善己は現代美術センター大阪で大きな作品を発表したし、二紀会の抽象画家、大西敏己もサンバル市民ギャラリーで繊細で詩情性のある作品を提示し今後期待できそうだ。うろこ美術館の岬和男、ギャラリーモの藤原昭三もおもしろかった。

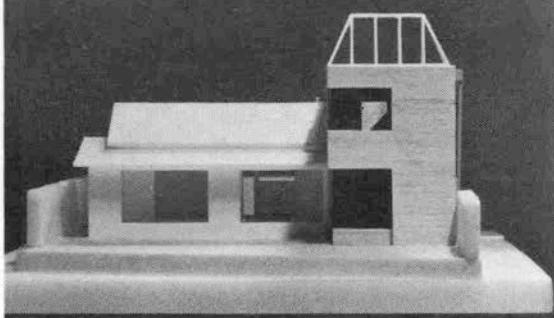
またダイヤモンドギャラリーで個展の森本博は、木版と思えない実に線の細い作品でおもしろい感性を表現していた。彼もこれから伸びていくだろう。

増田 僕は、建築家武田則明が海文堂ギャラリーで催した個展を高く評価したい。あの展覧会はきわめつけだったね。自分の建築物の創造過程を実にわかりやすく見せてくれた。僕は造形美術にとつて

最大の収穫だと思うよ。他に柳瀬修次郎も最近力をつけてきた。忘れてならないのが、ドイツで活躍している植松奎二だね。彼は昨年京都と東京で個展を開いたのだがその時示したイメージがドイツへ帰つてから大きくなつた。今までの彼の仕事が洗練され、さらに色が豊富になつてきた。日本に帰るたびに注目しないでいられないでの彼の仕事が洗練され、さらには存在になつていて。ぜひとも神戸で展覧会を開いてほしい。しかし昨年は“老人パワー”が目立つた市野弘之の大回顧展、中川安一の教職40年の成果展など精力的だった。芸術界も社会全体が高齢化社会になりつつあるようだ。



海文堂ギャラリーでの個展より



赤根 若い人の仕事は表面は活発に見えるけれど収穫は少ないね。

★異色のアーティスト

武田則明に受賞決定！

増田 このあたりで候補者を絞つてみたいね。

赤根 杉山知子、田中薰、松井憲

作、椿昇を最終候補に残したい。

草野 僕は、田中守、森本菊子、

岬和男、大西敏己、野口益代、こん

なところかなあ。

増田 椿昇は今が一番充実した時

じやないだろうか。

赤根 松井憲は来年になるとか

すんでしまうと思うね。

草野 田中薰は過去何度となく賞

を受賞するチャンスがあつた。

しかし、今年だからという大きな

になつていているのかなあ（笑）。

個展をしていない。

赤根 こうしてみると決め手不足今年は誰も受賞できないのでは。

増田 僕はあくまでも武田則明を推したい。彼は山口牧生のアトリエを作るなどいい仕事をたくさんしている。彼の建築のセンスはいいものを持っているよ。

赤根 建築家はこれまで一人も賞をもらっていないし、海文堂ギャラリーで個展を開いた直後だし彼でいいこう。

草野 建築に対する芸術的評価は一般的に低いでしょう。それを少しでも高めるためにも、彼に賞を与えるのに賛成します。

赤根 ぜひとも彫刻家と一緒にスクラムを組んで芸術性の高い作品を後世に残してほしい。

草野 彼の受賞は彫刻家にもいい刺激になりますよ。きっと。

増田 では、全員一致で今回の美術部門は建築家、武田則明に決定いたしましょう。

△文中敬称略△

- 受賞者メモリアル
1. 山口牧生 8. 堀尾貞治
<彫刻> <造形>
 2. 丸本 耕 9. 榎 忠
<造形> <彫刻>
 3. 小西保文 10. 松谷武判
<洋画> <版画>
 4. 藤原向意 11. 木下佳通代
<版画> <平面>
 5. 斎藤 智 12. 宮崎豐治
<平面> <造形>
 6. 鄭 相和 13. 藤原志保
<洋画> <平面>
 7. 山本文彦 14. 田中薰
<洋画> <平面>

昭和60年を “新緑化元年”に

□出席者□（順不同・敬称略）

土井 芳子（神戸市婦人団体協議会会長
神戸グリーンエア実行委員会理事）
吉永 瞳夫（株エキスプラン取締役社長
第3回全国都市緑化フェア懇談会委員）
能美 政彦（もりつコランド運営委員会委員長）

野村 克彦（株そごう神戸店店次長）
森 哲也（ジャズ歌手）

小松 恵（マジカビジョンエアリーズ）
中澤 義雄（神戸グリーンエア実行委員会専務理事）

— 今回は、花と緑の祭典として開かれるグリーンエキスボ'85の関係者の方々にお集まりいただき、グリーンエキスボの意義、緑の重要性、さらには博覧会終了後の跡地問題までを含めて積極的活発な意見を伺いました。

★楽しいイベントがいっぱいのグリーンエキスボ'85

中澤 グリーンエキスボは国の緑化施策の一環として、計画され、過去2回、大阪服部緑地公園と東京日比谷公園で開催され、花と緑のフェアとして、成功を収めましたが、その第3回目が、今年7月21日より11月4日まで神戸総合運動公園で盛大に開かれるわけです。

この運動公園は、時を同じくして行なわれる学生のオリンピックユニバーシアード会場でもあり、ユニバ期間中は、花と緑とスポーツが一堂に楽しめることになりますね。

このグリーンエキスボ'85が神戸で開催される背景には神戸市が昭和46年より進めてきた、グリーンコウベ作戦があります。今年、昭和60年はその15年目の節目でもあります。ユニバーシアード神戸大会の盛り上げ、最近開発めざましい西神戸地区のより一層の発展をめざしてグリーンエキスボ開催が企画されたんです。

吉永 私は、神戸の持つハイカラでスマート、さらに国



土井 芳子さん

吉永 瞳夫さん



中澤 義雄さん



小松 恵さん



森 哲也さん



野村 克彦さん



能美 政彦さん

際性イメージを自分なりに意識して全体構想を考えましたね。神戸はもともと緑、自然に恵まれていて、市民は緑とともに暮らしています。ですから、この土地柄をそのまま、生の生きた形で見せることが大切なのです。これまでの博覧会は、会場を歩き回ってただひたすら疲れて家へ帰るのが常だったのですが、グリーンエキスポは会場へくれば心身がリフレッシュされ、ほどよく疲れの博覧会場となるよう、ゆったりと遊べるヒューマンな会場づくりをめざしているんです。

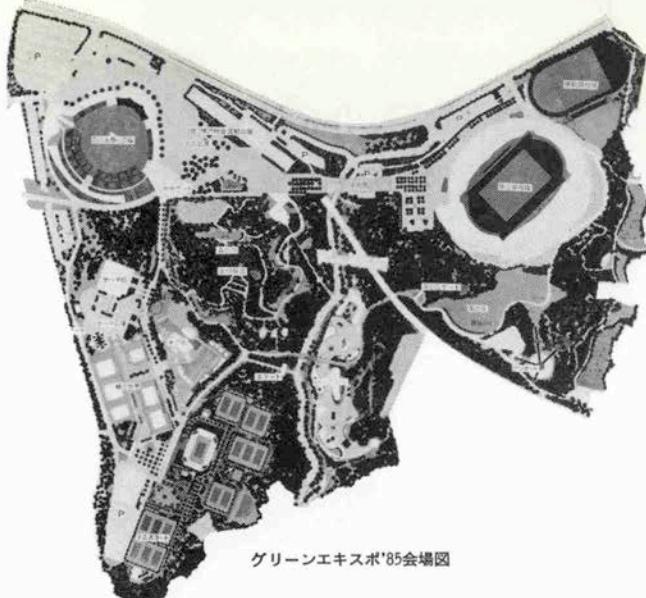
中澤 では次に私からそのゆとりある会場を簡単に案内します。

グリーンエキスポ会場は、シンボルゾーン、テーマゾーン、ウッドランドゾーン、ファンタジーゾーン、アドベンチャーゾーンの5ゾーンに分かれています。

まずシンボルゾーンですが、中心はゾーン西側の野球場で、西武球場のように半掘り込み式で外野に50×60に区割りした大花壇を作り、シンボルマークやさまざまな形に花を飾ります。内野グラウンドは芝で、内野席は2000人収容可能です。テーマゾーンは、グリーンエキスポのテーマである花と緑に焦点をあてたゾーンでテーマ館、民間バビリオンを中心構成されています。

また、このゾーン内に設けられた水上ステージでは「ボビュラーコレクション IN KOBE」などの楽しい各種イベントを予定しています。この水上ステージのある人工池の水深は10~30cmくらいにしています。といふのは、グリーンエキスポ期間中が夏から秋にかけてであるため、子供が池に入って遊べるようにしてあるんです。「森の国」とよばれるウッドランドゾーンは、自然林を生かした散策路をつくり、中国の珍獸で孫悟空のモデルといわれる金絲猴舎や小さな馬、果下馬の小屋などを回遊できるようにしています。果下馬は子供が乗れるよう調教中なんです。

日本初登場の遊具も揃えた遊園地「もりっこランド」のあるファンタジーゾーンは、お客さんに自ら参加して



クリーンエキスパート'85会場図

体験していただけたゾーンなんですよ。最後のアドベンチャーボーンは、陸上競技場背面の丘につくられており、ゾーンの一角に、遊びを通して子供の創造性を豊かにするアスレチック風施設「アソボット」を設置しています。丘の上にあるこのゾーンは、色とりどりの花が咲くグリーンパラダイスのような雰囲気にしてあります。能美　私は「もりっこランド」を担当しておりますが、全日本遊園施設協会へお願いし、グリーンエキスポにマッチした健康的オリジナル遊具を出展していただきました。当遊園地の目玉はなんといっても、日本初登場の「フライングスインガ」でしょうね。単純にいえばランコなんですが、こいでいくと360度回転するんです。必ず満足していただけます。その他にも「もりっこランド」には、高さ3㍍のレール上を自転車が走るサイクルモノレール、手漕ぎのトロッコ、「ポンピング

森 テーマゾーンの人工池に設けた水上ステージで繰りひろげられるイベントの一つとして、7月21日～11月4日までの毎土・日曜日に「ボビュラーコレクションIN・K.O.B.E」が行なわれるのですが、私はその出演者の一人なんですよ。このイベントは、神戸市、兵庫県で活躍中の地元アーティスト、滝えり子さん、風かおるさん、堀郁子さん他、約20名の素晴らしいライブショーで構成されており、出演者各自の個性を存分に發揮できるよう一人一時間、一日2回のオൺステージ制を採用しているんですよ。

また、参加者は全員ボランティアで、平素活躍の場が少ないアーティストに活躍していただくわけです。

ログ」360度のスクリーンに映像が映し出される「ダイノラマ360」など、13機種19種類の遊具を用意します。子供から老人まで、オールゼネレーションで体を使つて、健康的に遊んでいただきたいと思つています。

野村 私どもそこは、テーママゾーンにバビリオンを出展しますが、神戸市からの要請もあり、ふるさとをテーマに、映像と模型で各県に伝わる木や紙を使った技術を紹介するんです。また、バビリオンは、グリーンエキスポにびったりの民家で、屋根には8~10mもある天狗の面をあしらつているんですよ。なぜ天狗にしたかといいますと、天狗は、牛若丸に剣術を教えたとか、天狗からいろいろ技術的な教えを受けたといった伝説が多く伝わっているからです。他にはないユニークな建物になりますよ。また、当ペビリオンでは地方物産展も企画しておきり、生きた情報をお届けします。

森 なんといつても緑あふれる会場でコンサートできるのが楽しみですね。

土井 きっと普通のコンサート会場とは違う感動が聴く人に起くると思います。

小松 かなり盛り上がるでしょう。でも、私の出演する「KOB E マジカビジョンシアター」もそれに負けないくらい楽しいイベントですよ。映像とお芝居をミックスした神戸が舞台の連鎖劇形式になっていて、ロック王国の王女・ロッコがふと旅に出て立ち寄った神戸でアジサイの精アッコと出会い、彼女の案内で神戸の街を見学している間に、緑の大切さを教えられ 砂漠と岩ばかりのロック王国も森に囲まれた国にしようと、彼女は帰つていくというストーリー。1回15分の上演時間で、私を含めて8人のメンバーが交替でロッコ王女とアッコを演じます。舞台演出は、辻井康一さんで、たいへん厳しい指導の下、練習に励んでいますので、必ず感動的ショーをお見せできますよ。演技はまかせてください（笑）。

中澤 マジカビジョンに応募した理由は何ですか。

小松 昨年10月にオーディションがあったのですが、芝居は大好きで、簡単な説明を聞いてぜひやりたいと思ったんです。オーディションに合格した時は、すごくうれしかつたですね。

土井 グリーンエキスポでは楽しいイベントが見られそうですね。でも、博覧会へ行っていつも思うんだけどおいしいレストランが少ないのね。この会場には、質のいい食堂があるのかしら。

中澤 中央ゲート付近にレストランをつくり、ウツドランドゾーンの南側園路沿に峠の茶屋を設けます。

野村 博覧会の食堂はどうしても量をさばかないといけない。だから早く作って、早く人を回転させようとする。味の方まで気をつかうゆとりがないんです。

森 食堂とはちがいますが、日本の博覧会の場合、露店商人が周りの雰囲気を壊している場合が多いですね。行政の指導で店をもう少しおしゃれにできないものでしょうかね。

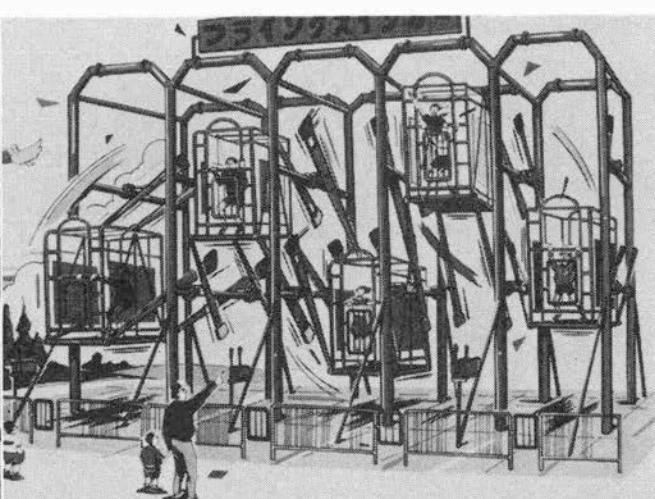
土井 そうですね。それと会場で神戸ワインも販売すればいいと思います。

中澤 テーマ館でのワイン販売を考えています。

小松 「KOB E マジカビジョンシアター」の中にもワイン工場が登場するんですよ。

★グリーンエキスポ終了後は、リゾートゾーンに

中澤 このあたりで、グリーンエキスポ終了後の跡地利用について触れてみたいと思います。まず、大花壇で飾られた野球場は、そのまま3万5000人収容の球場となり、プロ野球公式戦もここで観戦できるかもしれません。そして、テーマ館は、内装を全面改装し、体育館と



本邦初登場の金絲猿とフライングスインガ



して利用します。また、金絲猴は中国へ返されますが、建物はそのまま残して利用し、アーチエリー場、球技場などスポーツ施設も充実させ街のリゾート地として発展させたいですね。

ただ一つ残念なのは、「もりっこランド」は会期終了

後取り壊わされることになっています。

吉永 「もりっこランド」を遊園地として残すにはあまりにも狭すぎることですよ。今の面積の10倍くらいの土地がないとダメなんですね。「もりっこランド」はグリーンエキスポの盛り立て役なんです。

土井 リゾート地にしたいというお話がありましたが、宿泊施設がないので、もりっこランド跡地に建ててほしいですね。

森 国際都市神戸にふさわしく、Y.M.C.A.のようなものでもいいね。

土井 近くには学園都市もあるし、ぜひともここに学生の研修センターをつくるべきですよ。

小松 私は、最近、女の子の間で神戸ブームが湧き上がっているので、若い女の子にうける花に囲まれたかわいいベンションがいいですね。神戸には、身近なところにまた、こんなところに泊まれば最高だなあ。

土井 温泉もあればいうことないのにね(笑)。

野村 僕は、そういう宿泊施設をつくった上で、ゲートボールの全国大会会場にしたらどうかと思う。ゲートボールは、老人も若者も一緒に楽しめるスポーツでしょ。

森 それもいいアイデアですね。でも、スポーツばかりでなく文化施設もほしい。僕は、王子動物園をここへ移転してはどうかと考えます。現在の動物園は町中にあって空気や周りの環境もよくないので、動物がかわいそうですよ。グリーンエキスポ跡地だったら、森に囲まれて空気もきれいなので、動物の健康にいいと思います。

土井 動物園の跡地は、もちろんカルチャーセンターで

すね。図書館や近代美術館があるので、文化ゾーンとして整備できますよ。

森 跡地はやはり文化施設あり、スポーツ施設あり、宿泊施設ありといった大リゾート地として整備してほしいですね。

吉永 博覧会に来た人は、いろんな思い出や知識を持つて帰ると思うんです。だから博覧会終了後は、リゾート地として整備しつつ、記念公園として特徴を持たせてほしいですね。

★緑の大切さを身をもって体験できる

グリーンエキスポ

土井 都会のすぐ近くに緑に囲まれたリゾート地があればほんとうにいいですね。神戸の街は今までこそこんなに緑が豊富ですが、私が小学生だった頃は、六甲山なんて木が今はどなかつたんですよ。それを、市民全員が協力して植林したおかげで現在の姿になったのです。

小松 神戸の街って、自然と街がうまく溶け合っている感じで、実にステキな街ね。

森 神戸は、一人当たりの公園面積が全国1なんです。

土井 これからも市民の一人ひとりが緑の大切さを自覚し、もっと緑多い街にしてほしいと思います。

野村 隣家との垣根をコンクリートからいけ垣に変えていくとかね。これには、市から援助してくれるんですよ。

中澤 緑は、暮らしにゆとりを与え、人間性を豊かにす

ると思います。昭和60年を新緑化元年にして、"緑"についてもう一度市民の方々が考え直し、神戸のみどりをふやしていってほしいですね。そのためにもぜひグリーンエキスポに来ていただき、花と緑に溢れる会場で一日を過ごし、自然を体験しながら"緑"について学んでほしいですね。

田崎真珠株

取締役社長 田崎俊作
神戸市中央区港島中町6-3-2
TEL (078) 302-3321

梯べニヤ

取締役社長 松谷富士男
神戸市中央区三宮町1丁目10-1
TEL (078) 332-3155

株南インターナショナル

代表取締役 南泰吉
神戸市中央区浜辺通5丁目1-14
神戸商工貿易センタービル1701
TEL (078) 232-1301



キャンペーン「国際文化都市神戸を考える」の
企画は以上3社の提供によるものです。

経済ポケット

ジャーナル



密集が目立つ

は昭和四十五年度から「国鉄芦屋駅前地区整備計画」

法人、博愛会広野高原病院（西区北山台三一—一—一）が増改築、一月二十六日に竣工披露をした。

安田俊吉同院長は「創設者の故安田寛之の遺志を継いでようやくここまで来ました。実績を踏まえて一層努力をしたい」と身をひき締める。

月には駅の西地区が「アル

クルート神戸ビル」（田中勝神戸支社長・中央区江戸町95）の建設も佳境、三月末の竣工も目前となつた。

五十八年十一月に着工、

五十九年三月に完成間近



完成も間近

★銀行ビル新築ラッシュ

三井銀行も61年5月完成

大正八年から石造りの銀行として親しまれてきた三

井銀行（藤本克之神戸支店長・中央区西町35）は建物の老朽化

に伴い、昨年六月中旬から新築中。

地下一階、地上八階建で、延べ八千七百平方メートル。

一階二階が三井銀行、三階から

約千二百平方メートルの敷地にテナントが入居する。

山東春海同行神戸支店次長は「前の建物は銀行業務

を主としたもの。今度はお客様本位になります」。

完成は六月、六月の予定。



完成予想図

★成長企業「リクルート神戸ビル」完成間近

情報産業として急成長の

芦屋といえど高級イメージ

だが、国鉄芦屋駅周辺は狭い道路や商圏の密集など立ち遅れが目立つ。芦屋市

約千七百平方メートルの敷地に地下二階、地上十三階建てで、延べ一万四千五百平方メートル。

テナントビルだが、一階には神栄石屋証券が入居する準備を進めている。

神戸市役所に近い目抜き通りに映える反射ガラスの壁面、新しい「神戸の顔」になりそうな勢いである。

国鉄芦屋駅周辺再開発は、

芦屋といえど高級イメージ

だが、国鉄芦屋駅周辺は狭い道路や商圏の密集など立ち遅れが目立つ。芦屋市

★成長企業「リクルート神戸ビル」完成間近

情報産業として急成長の



★K O B E オフィスレディ★

浅井 尚子さん(25)
（オーミル・アンド・カンパニー・リミテッド）

肺結核の療養所として出発し、三十年を費した医療

上なく明るいニュースといえる。



安田俊吉院長（左端）を囲んで

小山乃里子の
華麗なる男のインタビュー

谷川 浩司名人
理解があつて関心が
ないお嫁さんがいい



——ここらの成績はどうなんですか。

谷川 昨年末の王将戦の挑戦者リーグで負けてしまいまして……挑戦者が三人四勝二敗の同率で、同率決戦で中原誠先生に敗れました。

——名人というのは全部勝つんじゃないんですか。

谷川 (苦笑して) イヤア、そういうわけでも(笑)。

——去年のお正月でしたね。名人が出てる歌合戦で私も審査員をやらせていただきまして。あのときヒドいことを言つたのよね。歌は内藤(国雄)さんの方がうまいわねつて。

谷川 だつてホントのことですから(笑)。ずいぶんアガつてしまつてヒドかったんですけど、今年の正月も凝りずにまた出ちやいました。

——一回目の歌がなんだっけ。

谷川 アリスの「チャンピオン」でした。

——審査員にチンペイ(谷村新司)が来てたんだ。

谷川 ゴマすつたわけでもないんだけど、何となくつまらない意地をはつたりするんですよ(笑)。

——名人がチャンピオン歌うのもシャレになつていいじゃない……。将棋を余り知らない人間は「名人」というのがどれだけ偉いのかピンとこないのよね。

谷川 本人もピンとこないんですけど(笑)。

——内藤さんに聞いたら「タイトルは七つあるんだけど

六つ全部とつても名人一つにはかなわない」と。

谷川 それはイロイロ見方がありましてね。他の六つ得ても名人一つの方がいいという人もいますし、他のタイトル三つと名人位とが同価値だという人もいます。

ただ歴史的にみても、名人を決めるシステムが他と違うというのあります。将棋界には奨励会を卒業した四段以上が百二十人ぐらいいるのです。名人戦以外のタイトルは四段以上の者なら予選を勝ち抜くことによつて奪取することができます。ですから四段になつて一年でタイトルを取ることも可能です。しかし名人戦の場合は、八段以上の十名で争う。ベストテンにいなければ駄目なのです。しかも四段から八段になるまで、最短でも五年かかるシステムになつてゐるのです。

——ワアー!! 大変ですね。それであなたが四段になつたのはおいくつですか。

谷川 十四歳のときです。四段になれば給料や対局料がもらえることになります。

——いわば中学二年で成人式を迎えたようなもの。非常に悪い子供です(笑)。

谷川 そうですね。その頃からお金を儲けていたといううにいえば親孝行だったわけだ。

谷川 そういうつていただけますと(笑)。

ね。神戸から最年少名人誕生……。かれこれ二年ね。

谷川 そうですね。また四月から防衛戦が始まります。

これは七番戦として、十日に一局のペースですから、四

月から六月までかかります。

——そお——。それはやっぱりどつかの温泉地とか……。

谷川 ええ各地をまわってですね。予選の場合は東京と

大阪の将棋会館でやるんですけども。

将棋指しの場合、この世界を説明していくことに時間がかかるんですね。どんなふうに生活しているのかとか、将棋指しがお金になること自体信じられないとか。

——実際どこからお金が出るんですか。

谷川 名人戦の場合は、毎日新聞と将棋連盟の契約で成立しているんですね。知りたい方は毎日新聞を読んで下さいとなるわけです。タイトル戦などは賞金を公表したりしてませんから判りにくいですね。朝日新聞には「全日本プロトーナメント」といって優勝賞金がはつきり明示されているものあります。マア、将棋の場合は出場す

れば対局料が出ますし、勝つていけば対局が増えます。運びにお金が出るのか——っていわれますけど(笑)。

一般の人はなかなか理解できないのか「どうして材木、まったくお暇なときはどうされてるんですか。

谷川 暇がありそうでなんだかんだあるんですね。取材とか今日みたいな対談もそうですし、アマチュアの将棋の普及の仕事もありますし。それと家で原稿を書くことも多いんです。将棋の雑誌に自分の将棋の解説をしたり、最近は週刊現代に月二回、二ページ書いています。アレコレで月に五十枚ぐらい書いています。

——原稿を? 五十枚? サゴイネ、これはまた……。

谷川 一番最初に依頼されたのが四段になつてすぐですからもう七、八年。だんだん馴れてきましたね。

——書くのは将棋のことばかりですか。

谷川 だいたいそうですが、週刊現代は半分エッセイ半分将棋の解説といったところですね。

——でも、あなたが名人になってから小中学生の励みに示されているのもあります。マア、将棋の場合は出場す

「四段になったのは14歳。14歳のときから給料や対局料でお金を儲けていた非常に悪い子供です」とユーモアたっぷりな谷川名人。



なったんじゃない。

谷川 ウーン、どうでしようか。でも同世代のプロ棋士の發奮材料になつたのか、五、六段の若い人がタイトル挑戦者になつたり、タイトルホルダーになつてますね。

——アア、やっぱりね。女流棋士はどうなんですか。

谷川 昔は将棋といえば男だけでしたが、十年ぐらい前から女流棋士が出てきて、今は十五人ぐらいいますね。将棋の普及の面では大変意義があることだと思います。

しかし実力の点では男とかなり差があります。女流棋士のトップとアマチュアのトップと勝負をしても、まだ男性アマチュアの方が勝つでしょう。マラソンにしろ、社会にしろ女性の進出は目立っていますが、将棋界ほどはつきり実力の差がある世界はない。まだ世界はな

——話は変わって、お嫁さんにすることはどんな人がいいですか。プロ野球なんかだと、奥さんは野球を知らない

で見て技術の素晴しさを堪能できますが、プロ将棋はなかなか理解できないところがありますから。

谷川 それより将棋を知つてゐる女性はそんなにいませんから（笑）。ただ勝ち負けで一喜一憂される方はチヨット……負けたときに一緒に深刻になつてもマズいですし（笑）。ですから「理解を示してくれ、かつて心がない」というちょっと難しい要求ですね。

——私みたいに、名人は全部勝つもんだというのもあんまりだわね（笑）。

谷川 対局中に負けが見えてくると、まずそこで気持ちを落ち着けるようにしますね。投了後、感想戦といつてお互の勝負を振り返つて話し合い、気持ちを整理します。それからお酒を飲みに行つたりで、家に帰るときは負けた気分を持ち帰らないようにしています。だから帰つてから「負けたの？」といわれると……（笑）。

——二人で深刻になるとマズいわよね……。さて四月から防衛戦が始まるとだけ、勝負師として一番大事なことは何かしら？ 執念深さかな？

谷川 私は執念深さの代表ですか（笑）。やっぱり将棋が好きでないとできないですね。好きであれば努力できるし、その努力が苦にならないですね。イヤであれば努力しないし、努力しないと弱くなるのでしようね。

——防衛戦ではがんばって下さい。



時間を見失つて将棋談議に花が咲く。

——「飛車落ち」といえば最高のハンデでしょ？ ウーン。私の父親が開幕のアマチュア四段でしてね。親睦の意味でヨーロッパまで遠征したりしてたけど、将棋はどうなんですか、海外普及とかは？

谷川 チェスが将棋なんですね、言つてみれば。アメリカ、ヨーロッパ、ソ連……。中国には中国将棋があります。ただ、似ているゲームがあるから普及しないのですなく、似ているから覚えやすいとは思ひます。現にア

マチュア四段なども増えていりますし。しかしプロ棋士になるのは難しいでしょうね。やはり小学生ぐらいから覚えて、ずっと続けていく必要がありますからね。

——日本の将棋人口はどれくらいるんですか。

谷川 公称は二千万人といつてますね。将棋の場合は自分で指すファンは多いけど、プロの将棋を学ぼうというゲームではなかつたんですね。例えばプロ野球なら目で見て技術の素晴しさを堪能できますが、プロ将棋はなかなか理解できないところがありますから。